

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		男女共同参画推進事業		担当課	人権政策課	担当係	男女共同参画推進係	管理番号	13211	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり		根拠法令 個別計画等	男女共同参画社会基本法 深谷市男女共同参画推進条例 第3次深谷市男女共同参画プラン				
	小項目	2	男女共同参画の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		社会生活における男女共同参画に向けた意識啓発のため、全ての市民を対象に、情報の発信や、講座の開催など啓発事業を実施し、男女共同参画社会の形成を促進するものである。								
目的 ※何のために		男女共同参画意識の向上及び男女共同参画社会の形成の促進につなげるため								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		講座の開催や広報等での情報発信、また、市民団体が実施する男女共同参画に関する事業に支援を行う。								
成果 ※何を求めるか		男女共同参画に向けた意識啓発								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	10	男女共同参画推進費	男女共同参画推進事業	9,539,199
本事業の 主な業務		・男女共同参画会議の開催					・男女共同参画事業所啓発・支援			
		・男女共同参画プランの推進					・深谷市連合婦人会補助金			
		・男女共同参画推進委員会の開催					・第4次男女共同参画プランの策定			
		・男女共同参画講座の開催					・			
		・男女共同参画情報の発信					・			
		・相談事業(女性の悩み相談)					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画			第4次深谷市男女共同参画プラン策定業務				
事業費	予算(現額)	4,243,000	10,110,000	4,464,000	3,884,000		
	決算額	3,761,779	9,539,199	0	0		
	財源内訳	国支出金	1,012,000	1,024,000	1,020,000	1,060,000	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	2,749,779	8,515,199	3,444,000	2,824,000	
人件費	従事職員数(人)	1.35	1.70	1.70	1.70		
	人件費相当試算※	10,478,585	13,378,247	13,933,858	13,933,858		
総事業費試算		14,240,364	22,917,446	18,397,858	17,817,858		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	ワークライフバランス及び男女格差是正の啓発を行った事業所数	目標値	社	40.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
		実績値	19.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の年間訪問件数を目標値とする/実数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	男女共同参画推進員を新たに設置した事業所数	目標値	社	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		実績値	11.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			設置件数の伸びを考慮し目標値とする / 実数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	女性活躍等推進事業所として新たに認証した事業所数	目標値	社	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	2.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の年間認証件数を考慮し目標値とする / 実数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	男女共同参画の意識が以前より高まったと答えた市民の割合	目標値	%	12.60	25.50	26.00	26.50	27.00	27.50	
		実績値	25.30							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績値を下回らない目標値とする / 市民まちづくりアンケート						
	実績値の算出式									
活動指標 2	講座の開催数	目標値	回	11.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
		実績値	8.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の開催数を目標値とする						
	実績値の算出式									
活動指標 3	講座の参加者数	目標値	人	270.00	160.00	160.00	160.00	160.00	160.00	
		実績値	155.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の参加者数を目標値とする						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	新型コロナウイルス感染症を配慮して事業所訪問はほとんど実施できなかったが、深谷市男女共同参画推進員へメール配信や男女共同参画に関するパンフレットの送付を行ったことにより、事業所内での男女共同参画の推進やワークライフバランスについて周知・啓発を行った。また、男女共同参画講座の開催やDV・男女共同参画に関するパネル展を開催し啓発を行った。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により事業所訪問が実施できなかったが、男女共同参画推進員へ情報を提供したことにより各企業で周知・啓発を実施することができた。令和4年度に男女共同参画推進員を新たに11事業所に設置、女性活躍推進事業所を新たに2事業所を認証することができた。男女共同参画講座の開催件数及び参加人数が目標値に達しなかったため、評価をBとした。	
			評価者	男女共同参画推進係長 吉岡 孝行

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	広報やSNSを活用し効果的に男女共同参画についての情報提供を行った。また、事業所向けセミナーやメール配信、パンフレットの送付などにより、事業所内における男女共同参画やワークライフバランスの周知・啓発を行った。今後、講座参加者を増やすため、講座内容に応じて電子申請を活用していく。	
			評価者	男女共同参画推進係長 吉岡 孝行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	より効果的に事業が実施できるよう、周知方法や開催日時を含めて事業内容を検討する。 また、男女共同参画講座の申し込みに電子申請を導入する。
達成状況及び その効果	コロナ禍のため、感染症を配慮したオンラインセミナーの開催やYouTubeでのオンライン配信を実施した。また、「在宅ワーカー育成セミナー」の参加受付を電子申請で行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	男女共同参画推進事業	担当課	人権政策課	担当係	男女共同参画推進係	管理番号	13211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>男女共同参画社会の実現に向けて、国・県とともに取り組んでいく必要があり、男女共同参画に対する意識を高めるには、一過性で終わらせることなく、啓発事業を継続的に行っていか、男女共同参画について関心を持っていただけるような事業内容となるよう検討していく必要がある。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> 人権政策課長 田村 恵					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	より効果的に事業が実施できるよう、周知方法や開催日時を含めて事業内容を検討する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	男女共同参画の実現にあたっては、市民への啓発だけではなく、事業所に対する啓発も重要であることから、男女共同参画に関する情報提供や事業所訪問を実施しワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取り組みを推進していく必要がある。

8. 評価指標グラフ

